

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM15Z001	生物学 (Biology)	基礎教育科目 自然・科学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	1	前	月・3	池田八果穂 内線：5609 E-mail：yatukaho@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

人間は生物の一員であり、また、人間は多種多様な生物との相互関係の中で生活している。人間を看護する者にとって生物学の理解を深めることは不可欠である。本講義では様々な生命現象について学び、生物学の基礎知識と、生物学を通して人間を考える視点を身につけることを目標とする。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 細胞の構造と機能について説明できる	○						
2. 生命活動とエネルギーについて説明できる	○						
3. 遺伝子の働きについて説明できる	○						
4. 細胞分裂と個体発生について説明できる	○						
5. 生態系や進化について説明できる	○						

【授業の内容】

1. 生体を構成する物質	9. 遺伝子操作
2. タンパク質の立体構造と機能	10. 生殖
3. 細胞の構造	11. 発生
4. 酵素	12. 恒常性
5. 代謝	13. 環境応答
6. さまざまな生命活動にかかわるタンパク質	14. 生命を支える地球環境
7. 細胞分裂と細胞周期	15. 生物の系統分類と進化
8. 遺伝子	

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	実物の標本を観察するなど授業中に学生に意見や説明を求める場面を設ける。	画像や動画の活用、LMS (Moodle) の活用
B：意見の表現・交換			
C：応用志向			
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書などを利用して予習する (15h)。 高校で生物を選択しなかった者は高校の教科書や参考書で基礎的知識を学習する。
事後学修	教科書や参考書を利用して復習する (15h)。 Moodle で配布される資料を参考にする。

【教科書】 赤坂甲治『新しい教養のための生物学(改訂版)』裳華房 2023年 ISBN 9784785352462

【参考書】 S. Mader (著)、藤原晴彦(監修)『マダー生物学』東京化学同人 2021年 ISBN 9784807909698
池内昌彦 伊藤元己 箸本春樹 (監訳)『エッセンシャル・キャンベル生物学』丸善出版 2016年 ISBN 9784621300992
上村慎治 (監訳)『ケイン生物学』東京化学同人 2014年 ISBN 9784807908523

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標	目標	目標	目標	目標
		1	2	3	4	5
小テスト	20%	○	○	○	○	○
期末試験	80%	○	○	○	○	○

【注意事項】

【備考】

教員の実務経験の有無		
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面	